



学校教育目標 進んで学ぶ子 仲良くできる子 たくましい子
児童数 男子499名 女子459名 計958名

㊦っかりと聞き・㊦くわく未来を語り・㊦すんで学び・㊦れにも仲良くできる しわすだっ子

朝飯前にできる子に

～ 時間を上手に使おう ～

校長 石井宏明

明日から44日間の夏休みが始まります。

44日間というと、第1学期の始業式から運動会までの日数とほぼ同じくらいです。

つまり、一つ上の学年に進級し、気持ちも新たにスタートした子供たちが、運動会で素晴らしい輝きを見せ(魅せ)られるほどの成長が期待できる日数でもあります。

ところで、保護者・地域の皆様は、「朝飯前」という言葉をご存じだと思います

この「朝飯前」という言葉は、『とてもかんたんなこと』という意味ですが、実は、江戸時代では、朝起きたら、近所の家庭、お年寄りの一人暮らしなど、困ったことが起きていないか、様子を見たり、声をかけたり、できることをしたりすることだそうです。

そして、朝ごはんがすんだら働く、自分のため、生活のために働くのです。働いた後は、人のため、町のために、ボランティアをする。

たとえば夏は、道に水をまき、気持ちよくみんなが過ごせるようにしたり、明日の準備をしたということです。

このようにして、自分のために使う時間と、家族の人、他の人のために使う時間をわけて考え、自分もよい一日を過ごせ、他の人も気持ちよく過ごした、ということだそうです。

この夏は、子供たちが「朝飯前」にできることや、他の人のためにできることはないか、考えさせ、行動させるようにしてみたいと思います。

夏休みは、時間の管理、使い方を子供たち自身、ご家庭にお任せする期間となります。自分の自由にできる時間を発達段階に応じて、自分で管理、マネージメントする力は、見通しをもつ力、計画を立てる力、時間内にやり遂げようとする心、振り返る力等、知徳体のすべてをはぐくむことにつながります。

また、夏には、地域の行事もあります。子供たちには、町会の一人として積極的に参加したり、お手伝いをしたり、他の人のために働いたりしてほしいとも願っております。

時間を上手に使える子は、知恵のある子です。

時間を上手に使える子は、自分の心をコントロールできる子です。

時間を上手に使える子は、未来の自分の健康をつくれる子です。

時間を上手に使える子は、自分以外の人の幸せを喜べる子です。

この夏休みは、子供たちが自分のため、家族のために時間を上手に使えるよう、各ご家庭でも話し合っていたいただければ幸いです。

そして、新たなものの見方・考え方加え、これまで以上にいろいろなことが「朝飯前に思える」、「朝飯前にできる」しわすだっ子になって、第2学期の始業式を迎えられることを期待しています。